

全国 活動だより

北海道

待ちに待った「歩く会」開催

越野 義貴(HBC)企画・記

自粛自粛で抑えられ、はや3年近く。もう待ってられんぞう・・・ということ、長い間見合わせていた「歩く会」を、昨年11月1日に再開しました。

思い起こせば先回は、一昨年2月12日に、閉幕直後で雪像解体作業が始まった雪まつり会場を歩くという特別企画でしたが、今回は、テーマを恒例となった札幌のミニ歴史探訪に戻し、第12弾「東札幌駅貨物ヤード跡と古きメモ跡および旧小沼川を辿る」と銘打つての開催でした。

市営地下鉄東札幌駅に集合したあと、幹事手製のリーフレットを片手に、現在札幌コンベンションセンターなどが建てられて昔の面影がまるでなくなつてしまつた旧国鉄千歳線・東札幌駅貨物ヤード跡の現状を見たあと、筆者の母校でもある札幌東高校敷

地にあつた沼、即ち豊平川の伏流水が湧き出ていたメモ(アイヌ語で泉)と、そこから流れ出ていた小沼川の跡を辿りつつ、札幌の歴史上重要な意味を持つ地区を通じて、周辺が目を見張るほど激変したJR苗穂(なえぼ)駅へと進みました。事前の天気予報は雨。しかし「天下一の晴れ男」を自負する仕掛け人の神通力は今回も健在で、冷たい秋風が爽やかな中、ときおりの陽射しも浴びながら、5km弱のゆつたりとした行程となりました。

そして「歩く」以上に重要な「会食」昼飲み会は、新たな苗穂駅のすぐ裏に位置するサッポロビール園で開催。

3年近くのブランクがあつた中、既に鬼籍に入られた方や、体力的に参加できなくなつたメンバーもおられました。久しぶりの開催ということで、会食のみ参加の方や、ゲスト参加の3名のお友達も含めて総勢14名という大所帯での行動となりました。

秋というよりは既に初冬の佇まいとなつた景色を愛でながらの、久しぶりの「ウォーキング」と

「ジギスカン・パーティ」に盛り上がり方も半端ではなく、平均年齢80歳を超える老人パワーがかまびすしく炸裂したのは言うまでもありません。

この様に同好会の活動も大き



新旧苗穂駅間の散策



旧小沼川遊歩道散策



平均年齢 80 歳超の老人パワー全開



会食会場・サッポロビール園開拓使館

な動きを見せ始め、いよいよコロナ退治の老人パワー全開です。今年も納会もきちんと開催し、来春は新年会、さらに総会開催へとつながっていくことを心から祈念するところです。